

指定案に係る動植物に関する資料

分類群	種子植物	科名	ヒルムシロ科
和名	カワツルモ		
学名	<i>Ruppia maritima</i> L. var. <i>japonica</i> Hara		
カテゴリ	大分県	I B (E N)	
	環境省	準 (N T)	
形態の特徴	沈水性単子葉植物。植物体は細く、密生して群落を形成。葉は糸状で長さ5~10cm。花は6~8月、長さ2~4cmの茎の上に目立たない淡緑色の花をつける。		
分布域	県内	周防灘海岸, (姫島・国東海岸)	
	県外	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島), 琉球	
生育環境	海辺の塩水池沼		
生育状況	県内では沿岸汽水域の池沼に生育。ヨシやガマなど大型の植物が生育しにくい環境にのみ生育。この狭い環境選択性が希少性につながっている。		
学術的価値	特殊な水環境への適応、染色体倍数化、雑種形成など多様な種分化。鳥の種子散布による地球規模の隔離分散種の存在など進化・系統的研究の対象種。		
減少要因	河口・沿岸域の護岸工事などによる生育環境の変化。		
備考	姫島個体群は塩田跡地の養殖池への転換により絶滅した可能性が高い。		



指定案に係る動植物に関する資料

分類群	陸・淡水産貝類	科名	キセルガイ科
和名	タケノコギセル		
学名	<i>Mesophaedusa elongata</i> Minato & Tada		
カテゴリー	大分県	I A (CR)	
	環境省	準 (CR+EN)	
形態の特徴	殻は大きい、殻高 25.8mm, 殻径 4.4mm, 18.5層。主襞が著しく長く、上腔襞は下腔襞より小さい。		
分布域	県内	宇目町	
	県外	宮崎	
生息環境	落葉が堆積した石灰岩の礫地や、洞穴入口付近の草むらなど		
生息状況	洞窟や広い洞穴などの湿度が保たれる環境で菌糸類を食す。		
学術的価値	模式産地は宮崎県西臼杵郡日之影町七折鍾乳洞付近であるが標高750m以上の高地で生息する。		
減少要因	道路の拡幅や整備で周囲の樹木が伐採され乾燥など、生息環境の変化が原因と考えられる。		
備考			



指定案に係る動植物に関する資料

分類群	陸・淡水産貝類	科名	キセルガイ科
和名	ウブギセル		
学名	<i>Tyrannophaedusa ouellaris</i> Minato & Tada		
カテゴリ	大分県	I B (E N)	
	環境省	II	
形態の特徴	殻高 14.3mm, 殻径 3.2mm, 淡褐色。外唇背部に隆起はない。下軸板は殻口縁にいたり、下腔襞がない、(小型のキセルガイ)		
分布域	県内	佐伯市 屋形島	
	県外	なし	
生息環境	日当たりは半日陰で自然な雑木林。		
生息状況	腐葉土と倒木等に発生する菌糸類を餌とし卵胎生で繁殖する。		
学術的価値	佐伯市屋形島が模式産地であり、他に類似する種はいない。		
減少要因	コレクターの採集による		
備考	10年前から生息が確認できなかったが、平成28年に少数個体を確認した。		



殻口の外唇が薄い

指定案に係る動植物に関する資料

分類群	両生類	科名	サンショウウオ科
和名	カスミサンショウウオ		
学名	<i>Hynobius nebulosus</i>		
カテゴリー	大分県	Ⅱ（VU）	
	環境省	Ⅱ（VU）	
形態の特徴	成体の体長60～120mm、体色は淡灰褐色や暗黄褐色、2-3月水路のくぼ地や流れのほとんどない水中の木の枝や落葉等に一對の卵嚢を産み付ける。		
分布域	県内	宇佐市、豊後高田市	
	県外	本州（近畿・中国地方）四国、九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島）	
生息環境	沿岸近くの低地や雑木林、産卵は谷間の水田・湿地などの止水域		
生息状況	これまで生息していた水路や池、棚田などで成体や卵嚢が殆ど見られなくなった。		
学術的価値	近縁種はトウキョウサンショウウオであるが、生息地はオオイタサンショウウオと重なる。		
減少要因	生息地の消失、汚水の流入、水田の乾燥化、圃場整備などによる生息環境の悪化。		
備考			

